

石岡市総合計画



(概要版)



基本構想：令和4年度～令和13年度

第2期基本計画：令和6年度～令和9年度

「石岡市総合計画」とは

「石岡市総合計画」は、基本構想と基本計画で構成されています。

今後 10 年間のまちづくりを進める中で、安全・安心な社会の実現や、市の魅力向上と情報発信力の強化、対話や学びを重視した取組を計画的・戦略的に実施するとともに、社会情勢に対し、しなやかで持続可能、かつ、「成長する・成長できる」石岡市のまちづくりの方向性を示す最も基本となる計画です。

また、市の最上位計画として位置付けられ、自治体経営の基本的な指針となります。市民と行政が一体となり、共通の目標である将来像の実現に向けて、総合計画を推進します。



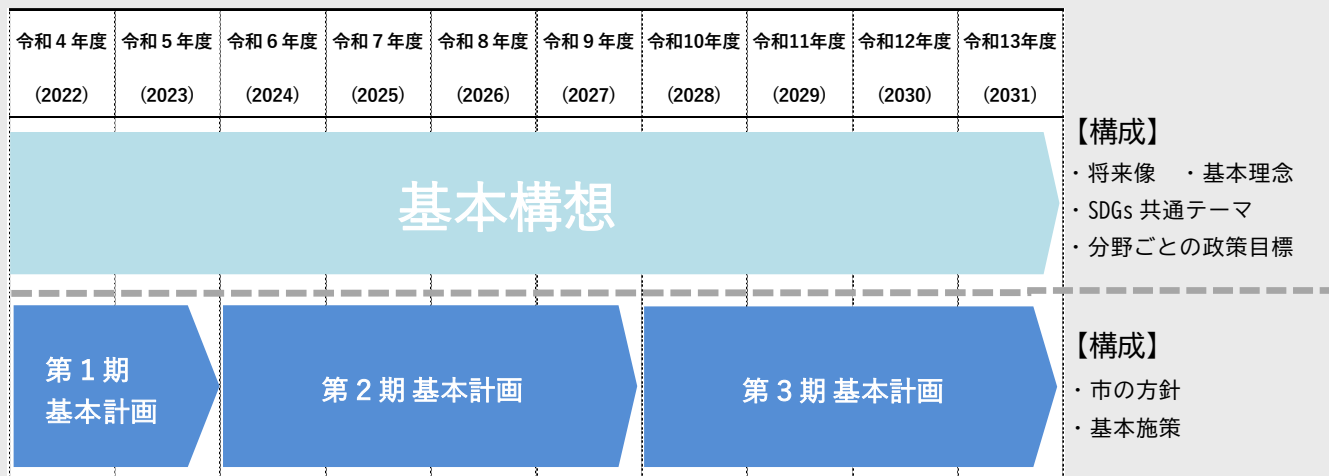
計画の期間と構成

■ 基本構想

令和4年度～令和13年度の10年間を計画期間として、市の現状や課題を踏まえた、まちづくりの大きな方向性が書かれています。

■ 基本計画

市長の任期と同一の期間として、第2期基本計画の計画期間は令和6年度～令和9年度です。基本構想実現のための施策の展開方向や成果指標、主な活動を分野別に示し、より実効性の高い計画としています。



目指す将来像

誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市

将来像への思い

総合計画では、10年後の石岡市が目指す将来像を上記のとおり定めています。

誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現への取組を様々な主体が共有し、結婚、出産、子育て、教育、社会経済活動、生きがい等、生涯にわたり誰もがあらゆるライフステージで、輝く未来を創り上げることができる石岡市を目指します。

そのためには、安全で安心なまちづくりや、魅力ある様々な地域資源を活かしたまちづくり、対話による学びを通じた共創のまちづくりを進める必要があります。複雑化・多様化する社会情勢に柔軟に対応しながら、持続可能な社会を創り上げていきます。

将来像達成のための「基本理念」

1 安全・安心

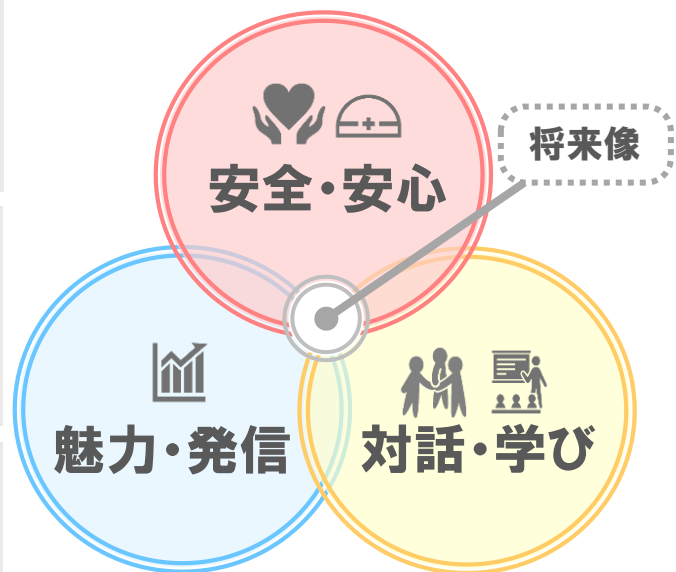
自然災害や犯罪、感染症などの多くの社会的な不安要素に対して、「安全」で「安心」して暮らすことができるまちづくりが求められています。

2 魅力・発信

様々な「魅力」を協働・連携によって活用・創出し、「発信」していくことで、本市の魅力を高め、関わってみたい、訪れてみたい、住んでみたい、住み続けたいと選ばれるまちづくりを目指します。

3 対話・学び

多様性を尊重していく社会において、相手の立場に立ち、自分事としてともに考える「対話」が重要です。また、将来を担う子どもたちのみならず、私たちが生涯にわたり、いきいきと暮らすために「学び」を大切にしていきます。



基本構想の体系

将来像の実現のため、3つの基本理念を構成し、全政策・施策に共通するテーマを保持しつつ、より効果的な政策展開を図るため、一体的に進めて行くべき政策同士を束ねる分野を設け、4つの分野と9つの政策目標を設定します。



将来像

誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市

基本理念

「安全・安心」 「魅力・発信」 「対話・学び」

SDGs共通テーマ

人口減少・少子高齢化・
関係人口増加への対策

協働による
まちづくりの推進

情報通信技術の活用

分野ごとの政策目標

輝く「魅力向上」分野

政策
目標 1

情報
発信

政策
目標 2

歴史・
観光

輝く「まち」分野

政策
目標 3

安全・
安心

政策
目標 4

都市基盤・
環境

輝く「ひと」分野

政策
目標 5

健康・
福祉

政策
目標 6

子育て・
教育・
学び

輝く「暮らし」分野

政策
目標 7

産業・
経済

政策
目標 8

地域・
文化

政策目標 9

チャレンジする市役所（行財政改革大綱）

第2期 基本計画の体系

市の方針を「共生・共育・共働」と掲げ、政策目標ごとに分けた合計 61 の基本施策により、施策展開を行います。また、「地方創生石岡市総合戦略」を基本計画内に位置づけることで、地方創生に向けた取組を一体的に推進します。

輝く「魅力向上」分野

政策目標 1 情報発信

- シティプロモーションの推進
- 石岡ブランドの充実
- シビックプライドの醸成
- 広報広聴の充実
- 海外プロモーションの強化
- フィルムコミッションの充実

政策目標 2 歴史・観光

- 歴史・文化財の保存・活用
- 景観の保全と価値向上
- 観光の振興
- 魅力の活用・創出
- スポーツを通じた関係人口の拡大

輝く「まち」分野

政策目標 3 安全・安心

- 消防・救急体制の充実
- 防災機能の整備・強化
- 防災危機管理の充実
- 地域防災力の向上
- 交通安全の推進
- 防犯対策の充実
- 消費生活の安全確保

政策目標 4 都市基盤・環境

- 駅周辺の整備
- 都市機能の集約化
- 交通ネットワークの整備
- 道路の整備
- 水道水の安定供給
- 下水道の整備
- 住宅の整備・空家対策
- 公園・緑地・自然環境の維持整備
- 再生可能エネルギーの推進
- 循環型社会の構築
- 環境保全の推進

輝く「ひと」分野

政策目標 5 健康・福祉

- 感染症対策の推進
- 地域医療の充実
- 地域福祉の充実
- 健康づくりの推進
- 高齢者福祉・介護予防の充実
- 障がい者福祉の充実
- 生活困窮者等の自立支援
- 持続可能な社会保障制度の運営

政策目標 6 子育て・教育・学び

- 結婚・出産支援の充実
- 乳幼児期支援の充実
- 子育て家庭支援の充実
- 個別の事情を踏まえた子ども・家庭支援の充実
- 創意ある学校教育の推進
- 地域と連携した教育の推進
- 学校教育環境の整備・充実
- 生涯学習の推進
- スポーツの振興

輝く「暮らし」分野

政策目標 7 産業・経済

- 企業誘致の推進・企業支援の充実
- 中心市街地の活性化
- 商工業の振興
- 農業の振興
- 里山の保全対策

政策目標 8 地域・文化

- 協働によるまちづくりの推進
- 協働の場づくり・協働人材の育成
- 文化芸術の推進
- 多様性の尊重と共生社会の構築

政策目標 9 チャレンジする市役所

- 組織・人材マネジメントの充実
- 経営・財務マネジメントの充実
- 課題分析に基づく政策立案の推進

- 広域連携と協働によるイノベーションの推進
- デジタル化の推進・自治体 DX の挑戦
- 開かれた市政の実現

地方創生石岡市総合戦略

人口減少社会を踏まえた地方創生に向けた取組

地方創生に向けて、総合戦略を基本計画内に新たに位置づけることで、デジタル化の視点も踏まえながら、基本施策と一体的な取組を推進。

リーディングプロジェクト

▶ リーディングプロジェクトの具体的な取組は[石岡市公式HP](#)をご覧ください。



総合計画をより実効性の高いものとするために、第2期基本計画の計画期間(令和6年度～令和9年度)において、各分野の施策展開をリードする事業を「リーディングプロジェクト」として位置づけています。輝く「魅力向上」・輝く「まち」・輝く「ひと」・輝く「暮らし」・「チャレンジする市役所」の5つのプロジェクトに加えて、本市の喫緊の課題解決に向けて『人口減少対策プロジェクト』を位置づけ、迅速かつ効果的に施策展開を行います。

人口減少対策プロジェクト ～ あなたの「希望」があるまち いしおか ～

本市の人口は平成17年(2005年)10月1日の合併時の81,887人と比較すると、令和5年(2023年)10月1日現在で70,333人まで減少しており、今後も減少していく予測となっています。

人口減少対策としては、出生率の向上が重要であり、若い世代が結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえられる魅力的なまちづくりを進める必要があります。

また、若い世代にとって魅力的なまちになることで、転出者の抑制、転入者の拡大につながっていきます。



輝く『魅力向上』プロジェクト

～ あなたの「推し」があるまち いしおか ～

本市の強みである歴史や観光などの地域資源を最大限に活用し、市の「魅力」を「向上」させることで、市民一人ひとりが郷土に愛着を持ち、自らその魅力を市内外に広く発信できるまちを目指します。



輝く『まち』プロジェクト

～ あなたの「安心」があるまち いしおか ～

市民が日々生活する基盤である「まち」をよりよいものとしていくため、災害や犯罪などの社会的な不安要素に対して、自助・共助・近助・公助により安全・安心の確保を目指すとともに、都市部・田園空間それぞれの特性を活かした都市基盤の整備・生活環境の向上を目指します。



輝く『ひと』プロジェクト

～ あなたの「生きがい」があるまち いしおか ～

市民一人ひとりの生涯に焦点をあて、市民の健康増進、医療の充実、福祉の向上を目指すとともに、結婚、出産、子育て、教育・学びといった生涯のあらゆるライフステージでいきいきと生活を送れるまちを目指します。



輝く『暮らし』プロジェクト

～ あなたの「活躍」があるまち いしおか ～

市民が日々生活する地域の「暮らし」を充実するため、地域内で自立し、持続可能な産業振興を進めます。

また、市民がいきいきと地域で暮らし続けることができるよう、市民や事業者などが行政と一体となって共にまちづくりを進めることで、多様性を尊重した共生社会の構築を目指します。



チャレンジする市役所 プロジェクト

地方自治体の最大の目的である「住民の福祉の増進」に向けて、安定的・持続的な行政サービスを提供していくため、「行財政改革大綱」として、すべての分野を下支えする「チャレンジする市役所」を位置づけています。

「組織・人材マネジメントの充実」と「経営・財務マネジメントの充実」を2大テーマとして、各施策を横断し、重点的・戦略的に取り組みます。



政策目標ごとの概要

各政策目標の具体的な取組を抜粋

政策
目標

1 情報発信 — 石岡市を「知り」 まちの魅力を発信する —

具体的な取組（抜粋）	取組内容
●シティプロモーション指針に基づく取組	指針に基づき、市民との協働により、ブランドメッセージやロゴマークを活用した積極的なプロモーション活動を行います。
●石岡ブランドの確立	里山文化、歴史資源、食、酒、工芸等を活用した石岡ブランドの確立とPRを図ります。
●ふるさと学習の推進	郷土に対する愛着や誇りを醸成するとともに、ふるさと学習交流の集いなどを通して、学習の成果効果を広く共有します。
●分かりやすい情報の発信	市政に関する情報を多様な手段でわかりやすく積極的に発信することにより、市政への理解や関心を深めます。
●海外プロモーションの実施	海外プロモーションを実施することによってインバウンド観光を促進し、人や経済の交流機会を創出します。
●フィルムコミッションの積極的展開	ロケーション撮影場所や、映画やドラマなどの作品を通して本市の魅力や情報の発信を行います。

政策指標	基準値	目標値
石岡市を知人に「お勧めしたい」と考える市民の割合	14.0% (R3)	40.0% (R9)
石岡市に愛着を感じる市民の割合	72.3% (R3)	82.0% (R9)

政策
目標

2 歴史・観光 — 悠久の歴史と 優れた観光資源を活かすまち —

具体的な取組（抜粋）	取組内容
●文化財の保存・普及・活用事業	文化財を確実に将来に残すための施策、普及・啓発活動を行うとともに、歴史遺産をPRし、文化的価値を高める施策を実施します。
●住民参加型まちづくりファンド支援事業	本市が誇る良好な景観の保全を目的として、建築物等の修景事業を支援します。
●観光客誘致促進事業	いばらきフラワーパークをはじめとする観光資源や特産品を活かした魅力向上などにより、観光入込客数の増加を図ります。
●移住推進事業	移住を希望する方へ、魅力のPRとニーズに応じた相談・支援を行い、移住推進につなげます。
●スポーツイベントの実施	市内外からのスポーツ愛好家を集めたイベントを開催し、関係人口の拡大に努めます。

政策指標	基準値	目標値
石岡市には自慢できる魅力があると思う市民の割合	52.8% (R3)	71.0% (R9)
観光入込客数（年間）	148万人 (R1)	175万人 (R10)

具体的な取組（抜粋）	取組内容
●救命率向上のための取組	救急資器材の計画的な更新・整備や救命士及び救急隊員の育成と教育研修の充実などを図ります。
●災害に強いまちづくりのための取組	国県と連携し、急傾斜地崩壊対策整備や河川の改修等を進めるとともに、災害時の避難誘導がスムーズにできる体制を整えます。
●災害リスクに備えた対策の強化	地震・火災・水害・土砂災害などの災害発生リスクを的確に捉え、平常時からの防災対策をより一層強化します。
●災害に対する地域の活動支援	自主防災組織の設立、地域防災訓練の実施、資機材等の充実を支援し、地域の防災力の向上を図ります。
●交通安全施設の整備	カーブミラーやスクールゾーン、街路灯の設置のほか、石岡市通学路交通安全プログラムを踏まえた歩道整備等を進めます。
●地域防犯環境の整備	防犯カメラの設置や地域における犯罪防止に寄与するエンゼルパトロールの活動を広報します。
●消費者トラブルに関する相談体制の充実	消費生活センターを中心に、被害にあった市民のバックアップ体制の整備を進め、安全・安心なまちづくりを目指します。

政策指標	基準値	目標値
災害・犯罪・事故等の発生に際し、安全・安心に暮らせるまちだと思ふ市民の割合	78.7% (R3)	87.0% (R9)

具体的な取組（抜粋）	取組内容
●石岡駅(西口・東口)整備事業	防災機能を備えた新たな都市公園の整備や、駅周辺施設の整備を進め、市民による多様な活動と交流を促進します。
●「コンパクト・プラス・ネットワーク」型のまちづくり推進	石岡市立地適正化計画に基づき、人口減少下でも持続可能な「コンパクト・プラス・ネットワーク」型のまちづくりを推進します。
●公共交通機関の充実	拠点間の路線バスのサービス水準の向上、乗合いタクシーの利便性向上、次世代交通システムの活用に向けた実証実験等を実施します。
●上曽トンネル整備事業	地域住民の生活・交流に加え、地元産業や物流・観光を支える重要な路線として、上曽峠のトンネル整備を進めます。
●水道事業の広域化	将来においても安定した水道水の供給を行うため、県の動向を踏まえながら他水道事業体との広域化を検討します。
●下水道の整備	下水道を効率的に整備するため、石岡地区、貝地地区、高浜地区を重点的に整備します。
●空家等への対策	住宅流通、適切な管理の促進を図るとともに、空家バンク制度の利用促進や、特定空家に対する指導などを実施します。
●石岡市公園施設長寿命化事業	計画的な施設の改築・更新を行うことで、誰もが安全で快適に利用できる公園を目指します。
●地球温暖化対策実行計画の取組	市域の自然条件に応じた温室効果ガスの排出抑制等に関する実行計画に基づき、ゼロカーボンシティに向けた取組等を推進します。
●ごみ・廃棄物等の処理	ごみの収集のほか、環境監視員による巡回、不法投棄防止看板の作成・配布、不法投棄家電の処分等を行います。
●公害対策	公害防止のための巡回監視や、問題が発生した時に各種調査・分析を行い、地域の安全・安心を守っていきます。

政策指標	基準値	目標値
今後も石岡市に住み続けたいと思う市民の割合	78.8% (R3)	86.0% (R9)

具体的な取組（抜粋）	取組内容
●感染症等のまん延防止対策	新型インフルエンザ等の感染症に備え、衛生用品等の備蓄を図るとともに、まん延の防止のための取組を推進します。
●分娩できる産科の設置／小児科医療の拡充	医療機関の誘致や産科医の確保のための対策を行います。また、小児科の救急診療を維持し、小児科医療拡充のための対策を行います。
●地域ケアシステム推進事業	地域ケアコーディネーターを中心に、各専門家や地域住民が連携し、支援が必要な高齢者等に、見守り活動やサービス利用調整等を行います。
●健康づくり推進事業	健康づくり事業の整理と重点化を図ります。また、子どもから大人まですべての年齢の方々に食育を推進します。
●生涯現役事業	生涯現役プラチナ応援事業の充実を図るとともに、介護保険サービスを利用しなくても自立できる生活を支援します。
●障害者自立支援給付事業	障害福祉サービス費の給付や自立支援医療の給付、補装具費の支給等により、障がい者を支え、自立や社会参加等の促進を図ります。
●自立支援プログラム推進事業	生活困窮者や生活保護受給者の求職活動を支援し、自立を促すとともに、関係機関と連携し、自立相談支援事業等を実施します。
●介護保険給付費の適正化事業	適正かつ良質なサービスを提供するため、介護サービス事業者との連携を図るとともに、介護給付費の適正化に努めます。

政策指標	基準値	目標値
住み慣れた地域で心豊かに安心して暮らしている市民の割合	84.3% (R3)	90.0% (R9)

具体的な取組（抜粋）	取組内容
●妊娠・出産期に対する支援	「いしおか出産子育てサポート事業」として、妊娠期から出産、子育て期まで一貫して寄り添う伴走型支援と経済的支援を実施します。
●乳幼児期における家庭への経済的支援	児童手当や医療福祉（マル福）事業、すくすく赤ちゃんクーポン券配布などにより、乳幼児期における家庭への経済的支援を実施します。
●育児に関する不安等の軽減	子育て中の保護者に対して情報提供を図るため、子育て支援講座等を開催するとともに、訪問型家庭教育を実施します。
●ひとり親家庭への支援	ひとり親の自立を促進するため、母子・父子家庭に対して相談事業などを実施します。
●学校いきいきプラン推進事業	多様な経験を有する社会人を講師とした学習活動、校外学習等の授業を行い、児童生徒の「生きる力」を育成します。
●コミュニティ・スクールの設置	学校評議員制度に代わるコミュニティ・スクールを設置し、学校を核とした地域における教育力の向上を図ります。
●学校統合再編事業	児童生徒数の減少に伴い、小中学校の適正規模・適正配置を推進するため、学校の統合再編、改築・改修を行います。
●中央図書館・こども図書館	魅力的な大人向けの講演会や子ども向けのお話会等のイベントを行うことで、図書館の利用促進を図ります。
●スポーツイベント事業	誰もが楽しみながら体力づくりができる、参加しやすいスポーツイベントを開催し、スポーツ機会の定着と健康増進を図ります。

政策指標	基準値	目標値
合計特殊出生率	1.44 (R3)	1.80 (R12)
学校に行くことが楽しいと思う児童生徒の割合	85.1% (R3)	90.0% (R9)
趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学びの場に参加している市民の割合	20.2% (R3)	28.0% (R9)

具体的な取組（抜粋）	取組内容
●企業誘致推進事業	県内外の企業・金融機関・デベロッパー等に働きかけ、市内未利用地への企業誘致活動を行います。
●にぎわいの導線づくり	中心市街地での創業支援のほか、ステーションパークの有効活用、歩行者天国を含むまちなかイベント等の実施支援により、中心市街地のにぎわい創出を図ります。
●商工振興事業	優れた産品を「石岡セレクト」として認証し、市内外へのPRと販路拡大を図るとともに、既存企業への支援を充実させ、消費拡大や市内事業者の持続的発展を支援します。
●新規就農者支援／有機農産物の推進	新規就農者の募集を広く展開するとともに、就農から定住までをサポートすることで、地域農業の担い手育成を支援します。また、有機農業実施計画を作成し、オーガニックビレッジ宣言を行います。
●適切な森林経営の推進	森林経営管理制度に基づき、手入れや管理がされていない森林の所有者に経営管理の方針等についての意向調査を実施し、経営管理権の集約化を図ることで、森林環境の向上を目指します。

政策指標	基準値	目標値
市内に魅力的な産業や職場があると思う市民の割合	23.2% (R3)	47.0% (R9)

具体的な取組（抜粋）	取組内容
●協働まちづくり推進事業	地域連携協定により課題の解決を図るほか、地域の様々な課題に対し、市民同士で解決するための活動を通して、地域コミュニティの活性化やまちづくり活動を推進します。
●コミュニティ活動支援	団体の情報発信や相互コミュニケーション等を促進するための環境を整備するほか、多様な主体による協働・連携に向けて、オンライン対話等の場づくりを行います。
●文化芸術の振興	多くの市民がさまざまな文化芸術活動に触れる機会を充実させ、創造性豊かな地域文化の向上を図るとともに、市所有の芸術作品の活用を促進します。
●共生参画社会の実現	性別にとらわれず「自分らしく」対等な社会の構成員として誰もが共に活躍できる社会の実現を目指します。

政策指標	基準値	目標値
まちづくりに参画している市民の割合	13.0% (R3)	24.0% (R9)
文化芸術に触れている。または、文化芸術活動に参加している市民の割合	16.9% (R3)	20.0% (R9)

具体的な取組（抜粋）	取組内容
● 窓口サービスの向上	効率的な事務処理の実施、部署間の連携や情報共有を推進し、更なる窓口サービスの向上を図ります。
● 自主財源の確保	市税等の収納率向上に努めながら自主財源を確保するとともに、ふるさと応援寄附金の推進等を行います。
● 計画・実行・評価・予算が連動した、効果的・効率的なシステムの確立	限られた資源を活用し、総合計画の実現を図るため、成果や効果などを重視した資源配分を行います。
● 連携と協働によるまちづくりの推進	各種団体、教育機関、事業者等の技術や知識、人材などをまちづくりに活かすとともに、連携により地域活性化や産業振興を推進します。
● 全庁業務分析と BPR の推進 <small>BPR：業務プロセスを見直し、抜本的に再設計する手法により行う業務改革</small>	全庁業務分析において洗い出された課題の解決のため、BPRの手法を用いて、業務のさらなる効率化を目指します。
● 広聴活動の充実	市長と語ろう会や市長へのたより等の活動を通して、市民の市政への参画意識を高めます。

政策指標	基準値	目標値
市役所が常に改善、改革に取り組むチャレンジ精神を持っていると感じる市民の割合	30.6% (R3)	52.0% (R9)

地方創生石岡市総合戦略

人口減少社会を踏まえた地方創生に向けた取組として、「地方創生石岡市総合戦略」を基本計画内に位置づけていきます。4つの基本目標と、それらを横断して取り組む重点化テーマを設けるとともに、基本施策と一体的な取組を推進します。それぞれの取組には、第2期基本計画の各基本施策と連動した、数値目標や重要業績評価指標(KPI)を設定しており、効果的・効率的な施策展開や進捗管理を行います。

全ての施策に共通して取り組む

重点化テーマ

『デジタルの力を活用して地方創生を目指す』

- デジタルの力を活用した市民サービスの提供
- デジタルの力を活用した業務改善

基本目標 1

市の強みを活かした安定した雇用の創出

- 企業誘致と就職支援
- 農林業の振興による雇用の創出
- 商工業の振興と中心市街地の活性化

基本目標 2

市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる

- 交流人口の拡大
- 関係人口の増加及び本市への移住推進
- 文化芸術の推進による魅力向上

基本目標 3

若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる

- 結婚・出産支援の充実
- 乳幼児期支援・子育て家庭支援の充実
- 個別の事情を踏まえた子ども・家庭支援の充実
- 教育環境の充実

基本目標 4

時代に合った地域をつくり、
安心で心豊かな暮らしを守る

- 健康でいきいきと活躍できる社会の実現
- 都市基盤・交通ネットワークの整備
- 安全・安心な生活環境の維持・向上
- 多様性の尊重・共生社会の構築

石岡市総合計画のポイント

Point 1 SDGs共通テーマ

総合計画では、将来像の実現のため、SDGsの視点を取り入れ、特に力点を置く分野として3つの共通テーマを設けています。全ての政策・施策に共通して取り組むことで、将来像の実現に向けた取組を推進します。



人口減少・少子高齢化・関係人口増加への対策

協働によるまちづくり

情報通信技術の活用

Point 2 様々な世代の意見を反映させた計画づくり

総合計画の策定にあたり、さまざまな世代との対話を重視しました。10年後の石岡市がどのようなまちであってほしいかなど、多くの意見を伺い、計画に反映させています。



Point 3 基本施策単位での「あるべき将来の姿」の設定

総合計画では、61の基本施策単位ごとの長期目標として、基本施策それぞれに「あるべき将来の姿」を定めました。その姿に到達するために、現状を把握したうえで、今何をすべきかという考えのもとに構成されています。また、あるべき将来の姿への進捗を測るための成果指標を設け、その指標に対する評価をPDCAサイクルに組み込むことで、より効果的・効率的に各取組を推進します。

Point 4 行財政改革大綱・総合戦略と一体となった計画

少子高齢化や社会情勢の変化にも即応できるよう、失敗を恐れず、常に改善、改革に取り組むチャレンジ精神が成長戦略である総合計画の実現に向けて非常に重要になります。そこで、総合計画のすべての分野を下支えするものとして行財政改革大綱（「チャレンジする市役所」）を位置づけます。

また、地方創生に向けて「地方創生石岡市総合戦略」を基本計画内に新たに位置づけることで、デジタル化の視点も踏まえながら、基本施策と一体的な取組を推進します。

石岡市総合計画（概要版）
令和6年3月発行

発行：石岡市 市長公室政策企画課
住所：〒315-8640 茨城県石岡市石岡一丁目1番地1
電話番号：0299-23-7277

▶ 石岡市総合計画の全体については
[石岡市公式HP](#)をご覧ください。

